



人と環境にやさしいトランジットモデル都市をめざして RACDA

第 262 号

2025/ 11

京橋朝市から行ける古墳図鑑 電車バス自転車で回ろう

■古代吉備には楯築遺跡のような列島最大の弥生墳丘墓が登場し、円筒埴輪も吉備の特殊器台が元祖である。また造山古墳・作山古墳など大王墓と思われる古墳もあり、両宮山古墳も日本書紀に登場する人のものだ。古墳時代を通じて、吉備は列島の重要な交易拠点であり、シルクロードの東の端にもあたった。

■宇喜多が岡山城に乗り込んで来た時も、吉備は瀬戸内海の交易拠点であり続けた。山陽道を北の龍ノ口山下から迂回させ、京橋を架橋した。京橋は明治時代には、三蟠港から大阪への汽船へのアクセスとして栄え、さらに山陽鉄道ができてからは、四国への最短ルートとなった。京橋が一番賑やかだったのは、宇野線開通までの 20 年間であった。現代でも吉備は中四国一の交通結節点であることは間違いない。

■さて京橋から至近距離にある操山には 130 基以上の古墳がある。特に今回、模型を製作した「金蔵山古墳」は、操山の沢田の里山センターから登ることができる、西暦 400 年前後の前方後円墳だが、規模的にはこの当時から中四国一の規模を誇る、全長 158m だ。山の頂上にあり、南側は瀬戸内海航路に臨み、北側は弥生時代以来の百間川遺跡を見下ろす。西の造出しでは花崗岩の岩盤の削り残しがあるが、東側には造出しの元祖というべき島状の遺構があり、祭祀が行われていたようだ。墳頂には二つの竪穴式石室があり、一つは完全に盗掘されていたが、もう一つは天井石が残り、中を覗ける。副室という石室からは、大量の鉄器が見つかり、その発掘は 1953 年に行われ、墳頂の埴輪の配置がいち早く知られ、先進事例だった。遺物はほとんどが倉敷考古館にある。

■湯迫の備前車塚古墳は、三角縁神獣鏡など 13 面も出たことで、古墳時代初期の著名な前方後方墳。バチ型に開いた前方部は、奈良の箸墓古墳とのデザインとの共通性が早くから指摘されていた。同様に前方部がバチ型に開くのは、網浜茶臼山古墳、操山 109 号墳、穴甘山王山古墳、片山古墳、津倉古墳などで、岡山市街地を取り囲む古墳には、初期のものが多いのも特徴だ。(吉備古墳図鑑集、備前・備中・美作・讃岐・播磨・丹後・紀ノ國 500 円)

■この古墳図鑑をもとに、できる限り電車・バス・自転車で回ってみてほしいが、最近は山が荒れていて、国土地理院の地図に載る山道なども、藪に覆われてわかりにくくなっている。インターネットで様々検索すれば、古墳探訪の動画もあるが、低いと雖も山だから、遭難の危険性もある。アクセスの情報と到達困難度は「資治通鑑日本語訳古墳時代対応」の QR コードから入ってもらえば、備前・備中については掲載してある。スマホだけに頼ると、山では電波が届かない場合もある。岩や段差も多いので、きちんと運動靴を履き、できれば長袖を着用しておく、棘やハチの被害を防げる。また健康飲料や最低限のカロリー補給は準備しておくことだ。

■古墳というテーマを持って、軽い山登りが出来、眺望を楽しめ、さらには健康にもいい。自転車で回れば沢山回れる。折り畳み自転車を JR に積んで、備中・美作・讃岐・播磨・丹後・紀ノ國にもチャレンジしてほしい。

NPO 法人公共の交通ラダ(RACDA)

事務局 〒700-0823 岡山市北区丸の内 1-1-15 禁酒会館 3F TEL&FAX 086-232-5502

E-mail: info@racda-okayama.org

URL: <http://www.racda-okayama.org>

RACDA

検索

